横浜演劇鑑賞協会

第330回観劇会

Nana 「其の女」 Produce 公演

2025年9月25・26日 **県民共済みらいホー** ル

40代·男性

- した。 優が素晴らしかった。 žτ 相手の また新し テーマがしっかりとあ 言葉を想像させる台本 い舞台を観た感じがしま ŋ ij ź
- も良かったです 演じていてびつく 一人で様々なシー ŋ # 役を上 とて 手に

50代・男性

られるとても優し たのだなとと思った。 ●結婚していつでも他人の事を考え いお母さんになっ

50代男性

- ケーキ 台だった。 ●文学座女優プラス「チョ の作 Ш -12 堋 똮 ÇĮ, à E 4715 n 抻
- ようと改めて思いました。 原爆は許せない。 井 椩 (2) 俄 界にし
- ていました。 重いテー 弘子の目線 ママすね また観たい などで他の 人 作品です。 が出現し

- 心配です。 く機会が減 でした。中・高 若い世代にしつ つかい 生か広 ŏ かり伝えたい M_i 敚 近の学校が 長崎に行 14
- させられました。 原爆乙女の生き方。 3 いろ考え
- さんの中学 まいました。 上に領出 一人芝居初めて見ま lity. 演技が良 代の 自分は男なのでも 製扮 くて見 į ちに敗越 Α 恕 -2 T しま ロシ 僚

府は批

単せよ

- 明がとても効果的で良 ていたと思います。 ・シンプルな舞 「原爆乙女」の人生が見事に描かれ 台でしたが背 かったです。 響と 膨
- まいます。 もいます。 ころも少し ●井上ひさしの原爆物と比 笑わせてくれるようなと あ ればも Ö, 上に設か 骹 ったと L T
- 原爆症、
 生 絶対原題 25 背負 徙 Ð ħ. b ない され 3 批 弊 ij ė

70代・男性

- 芝居を見せてもらっ 人で一 16 するのは体力的 がなければできないだろう。 原爆乙女の衣装が食く出て 時間 IJ. 上に相当な 5) (7) あ 0 × 演 17 生し Ų> 2 技 13 Ų١
- 一人芝居素晴らしかったです。 赴し 餡 U ķ3 뽀 48 k. 辛

D.

ったです。

接字

ġη

ストリー

が良

100

-

た名類います。

- |市を変えて、 許せない。 13 られました。 られる舞台装置、 色々な場面でそれぞれ 素敵でした。 長時間語り続けるのを 植兵器 何人もいるように感じ 西谷はるかさんの演技 それにしても 協心しました。 禁止 の無い 条 始きずに見 約 か日 が嫌は 仕 水政
- 塘 すます風化する原郷のお話で貴重な τ 地上から枝のな 核兵器の 間を過ごすことができました。 (7) 亩 母親の子ども 一人舞台お 60 Ŷ 情さ 8 い世を望みま 赧 改め 承西 に対 れさまでし する思 て (T)想 1/2 Ŧ t. 偏とし Vi # b. ±
- ・原爆の 親子の 良い演技でし ひどさを改めて 関係がせ つなか のであり 思い 起三さ

受け止めることができまし

- まう抱しさ。 母親の方が強いなる。 **●** 争によって人生を変えられてし それ去乗 ŋ 総える力は
- でしょう。 幸せでした。 私の知らない人生も でやり切ったことがすごいです。 原煤 一人芝居でしたが。 被被出 生た 者は維 MF 数に 1 43 無数にあった事 人生 いたは 人で最 を開けて チで、 後主 嶷

- 生元都 L といのは 「私がいち 生現実になりつつあるようで恐ろ 戦争の記 たちに近づく」という言葉が 石垣りんの詩集であるが、 協が遠ざかる時、 ばんきれいだった時
- に心を動かされました しまし 的谷さん Ž, 熱湖とストー b 一人芝用。 とても ij (U 良さ 撼 動
- でほしい。 Ļ しさが良く伝わってきました。 良かったです。 原 安土がりとか の残したものはあまりに大き 人生を壊され いう政治家は 学ん た侮

八〇代 93

- ーリーが単調かな。 見事な演技力です。 ところがない。 まあ素晴らしい ただ、少しスト 人芝居でし ドラマチック 0
- でなく内容が素晴しいです こんなに楽 Ŋį. て見させて頂きました。 爆乙女、 間らし 一度とさせては い一人芝展。 海南 12 ならな だけ 初
- とに感 が歴史は繰り返されています。 E ďΙ n 人力 激し 長い一人芝居を演じられ か ました。 数測になったはず 広 胎 0 劃 t: Ħ + 世
- ti. 成り立つことを再認識した。 一人芝居という形式でも十 D 1 周

10代・女性

込まれました。 に思えて、その演技がすてきだと思 公の気持ちが伝わるようで良かった。 った。ホール全体を使う演出は主人 一音響に迫力があって、場面に引き 実際に人がいるよう

30代・女性

く伝わってきたし、もちろん主人公 ひろこさんの感情もとても伝わった。 ない話でした。ヒロシの気持ちも良 た!内容も原爆についてで、深く切 ターまで感じられた。 ●一人での芝居ですごい表現力でし 一人芝居なのに出ていないキャラク

40代.女性

も良かったです。 演じていてびっくりしました。とて ●一人で様々なシーン、役を上手に

芝居で作っていく作品は素晴らしい。 これまた新しい舞台を観た感じがし ました。テーマがしっかりとあり、 ●相手の言葉を想像させる台本は、 かった。

50代・女性

女優が素晴らし

演技に引き込まれました。 です。メイクさんが上手ですね 目の周りのケロイドが痛々しかった 人で演技している迫力がありました。 ●ひとりでの演技でしたが三から四 重たいテーマでしたが変幻自在 な

> たのだなと思った。 られるとても優しいお母さんになっ ●結婚していつでも他人の事を考え

人の女の心を喜怒哀楽で表現して 感動いたしました。力強く生きる一 て脚本も素晴らしかったです。 ●完全なる一人芝居素晴らしいです。

60代・女性

●母は偉大ですね。

果的でより深い場面 が感じられた。 ●音や光、のれんの動きがとても効 人の心の動き

した。

らこその人生。一人芝居での表現力 が素晴らしかった。 胸が熱くなりました。生きているか かったです。特に母としての思いに 女性として母としての喜び素晴らし 原爆という重いテーマだったが、

芝居はもっと違う人にもみてもらい 事ですね。人間は話合いができるの ろしさ感じないのだろうか。悲しい とされて色々訴えてるのに原爆の恐 たいですね にたいへんな世の中です。こういう 戦後八〇年です。日 本はピカが落

●今まで観た中で一番よかったです。

れるようでした。とても良かったで さんがいるかのように感じました。 一言、一言に感動して心が揺さぶら 一人芝居なのにまるで他にも演者

●原爆にあった人たちの人生を狂わ

した。 たことも忘れてはいけないと感じま せて苦しい人生を送られた方々が

良い結末となって良かった。 女が幸せな結婚をし、子をもうけ、 ●原爆によって運命を狂わされた少 ●一人芝居とは感じられない 、演技で

す。素晴らしい演技で私達観客に訴 ばいけないというテーマだと思いま の苦悩。いつまでも語り継がなけれ した。広島で被爆をしてきた人たち ●一人で演じるパワーに圧倒されま

させられました。 ●原爆乙女の生き方、いろいろ考え

えてくれたと思います。

まいました。 上に演出、演技が良くて見入ってし ●一人芝居初めて見ました。 想像以

す。 思いました。 いし世界が変わって欲しいと改めて 被爆国であること、忘れてはいけな った人、多くおられたとおもいます。 ●一人芝居の熱演素晴らしかったで 原爆によって人生が大きく変わ

感動しました。 心にしみる親子の物語でした。 一人での演技は難

しいんだろうなと思いますが、これ

うに思いました。 は一人の方が気持ちが伝わるよ 2

が「自分の人生」を生きることが きて良かった。 ●一人芝居、難しい役をこなしてお 大変感動する演劇でした。 主人公 で

70代女性 た。大きな声で演じていて感動した。 られた。台詞が自然でとても良かっ

うに感じました。 のでしょう。同じ日本人、同じ広島 せんでした。舞台上に何人もいるよ の人間同士なのに、 とてもよかった。一人とは思えま)人間ってどうして差別をしたがる 悲しいですね。

たと思います。 さんが明るく演じていたのが良 ●暗くなりがちな題材ですが、弘子 かっ

リーがわかりやすい。 時代や背景が良くわかった。 レートケーキ。 なかなかよかった。 音響の演出 さすが チョ ストー で

の手落ちを実感しました。 た。戦後を歴史として教えない教育 を違和感なく見せる演出は見事でし 目だと思いました。 ●戦後八○年の節目にふさわ カーテンの動きに見入りました。 難しい一人芝居 しい演

言えません。 一人で一 時間二〇分すごいとしか



一人芝居の素晴らしさ、 装置や照

明他がバックアップしていた。

かった。 とても聞き心地が良い話し方で良

という事は忘れません。 アメリカは日本人を実験台 にした

づかいが聞こえて来る様で素晴 12 そ笑える幸せだと言われたことが心 づく思いました。 一戦争はまだ終わっていないとつく 残りました。一人なのに相手の息 生きているからこ らし

です。 も参加されてお話が聞けて良 客席交流会、 古川さん、 日澤さん いかった

かったです。

ば 感じました。 がずっと引き継がれてい 一若い方たちによって作られ 戦後を生き抜いた女性の力強さを いなと思います。 子供が希望という気持 ってくれれ た作品

> 方 のですが、 ちは同感です。 つになっても変わら ったと思いました で鑑賞出来たら良 情とかは良 ろの方だったの 親子の関係はいく 声を聞 ぜひ前 てい く見え 席 係 た (

に考えさせられました。 ないもの 自 一分の関

せん。 になります。 こういう悲しい、 時間二〇分。 すごかった。 あまり好きではありま すばらしいです。 こちらも辛 つらい話を一人で - い気持 ち

るのだろう。 は日本人は昔も今もどうして差別す でも差別され続けて人生を生きたと て治療した女性がいることを。 最近知りました。 アメリカに それ 行

点でアッピールが必要なんだなと思 出の工夫が聞けて楽しかっ います。。 おこるのではという今、 作る仕事、 です。作家の方の考え方、 アフタートークがとてもよかっ タイムリーでした。 楽しそうです。 いろんな視 核戦 た。 想い 争が 劇を B 演

ませんでした。 原爆二世の事など考えたことあり 充分ありえる話です

わいい!命が続くと思えばうれし ね。どんな母でも母は母。子供は 紙も良かった。 らせる素晴らし カーテンの動きで人の気配を分か いと思いました。

れていました。 子や孫までずー 原爆の悲惨さが本人だけでなく。 つと続く事がよく表

年ですね。 後が話題になった年で、 崎、その他のいろいろの場所で戦 を忘れないようにしないといけない 今年は昭和一〇〇年で、 「げんばく 広 島、 長 争

思い出しいました。 す。私が育った長崎のことそして母 爆者。 投下の 少し頑張っていたことをなつかしく 差別は感じられませんでしたが、 との関係を思い出しました。 頃から母の自 私は長崎 数日後に長崎に入った間接被 つまり私は被爆ニ の生まれです。 .慢の 息子になるため 世になりま 母は原 卧 へ の 爆

劇会でした。

被爆八○年にふさわ

L

11

内容

0)

う数の との大切さを思う。 N 被爆者 〇モア被爆者 人生がある中「被爆者何万人とい NOモア広 一人一人に言葉では言えな 島NOモア長崎 O声 をあげるこ

か りまし なことに校舎の陰でけがをせず助 私の父は広島で被爆しました。 た。 でも放射能をたくさん 幸

> 倍心配させられました。 浴びました。 孫が生まれる時は人一

V

か

重いテーマだけ が多かったと改めて考えさせられた。 さえも被爆者は無理解に苦しむこと 難しいテーマだと思うが、 マだと思う。 れど語り継ぐべきテ 広 島で

手

晴らしかったです。 セリフと表現が微妙 を演じた渋谷さんに感激しました。 悩を思うと言葉もありませんが、 ても強い人、 独り芝居でこれだけのストー 大変重いテーマでした。 最後の方は泣かされ 勇気をもらいました。 に違う演技 まし 彼女の が リー

でしょう。 傷ついた人がそれはそれは大勢い ヒロシを感じられた。 一人芝居なのにリアルに息子さん 戦争は絶対 原爆で心身に しては た

しみをよく表現されて素晴ら ●原爆で受けた傷が元で苦しみや L カ

る側の想像 心に残るとても良い芝居でした。 人芝居の難 力が必 ž, 演者さんに 面転換の

演じる方の エネ ル ギ 迫 力 3

お疲れ様。

を越じま ることに役 感じ生した。古 色が (7) V ろいろと変わ 1 1 23 高さ

したり

かさん良かったです ころがあった。 れでも芯の強い 被爆 夫の 4 人芝朋 きガ 子出 12 (7) 共 (7) 地容はる 感すると 舊 伍 Z

技されて最高でした。 ひろしの存在がどれ 人芝肚。 たか特盤でよく描か ご苦労輒、 本当に 12 13 てい 200 ました。 上く 22 にな

対にしないこと! 必要な時代だったと思う 生だったと推動 被爆者が子供を持つことに L 支 7 173 で大変な 戦争は絶 訓 気 200

その人の家族も一 しょうか のです。 一人被爆者だけの苦しみでは 生苦しみを背 は罪 熛 17 負う なく 為で

に対する排除の査質は りませんでした。 が、ここ数十年思い ひどいものになってい 原 爆乙女のことは Ħ 本人 在か 311 1 -2 てい 0 ij る事は 異 なる人 \$ した 色で あ

(7) いか 速れられない戦争の爪痕、 嫌のテー 患い出 世の中にしたい マを実践 しました。 のです。 の拠点で揃き 何とか 3 6 24 Ť

出 世まる内容 に仕上げて頂

> 接 J. あ + りがとうござ 年に b L 63 主し お 芝 t 刞

る方 投資とし L 一人芝居 t, 声色近 (7) Œ. 本儿 ての いる を初 レベルの高さを適じ 南 Ì, 10 10 ろと変わ T 追 枞 力を 主 L ることに NS U # 演 1

ころがあった。 れでも芯の ●被爆" 夫の 強い 死 4 ð 8 子と 39 10 共 (F) 360 荔 干ると 種 芒

対にしないことも 必要な時代だっ ●被爆者が子 ひろしの存在が たか終 生だったと推察 盤でよく描 出を持 たと思う E L # Time II z, n SPRE + 扎 0 T で大変な 楲 15 まし 争 ឤ 15 気が は 15 Ė, 絶 tz

です。 苦 微 は しみでは ●広島の被爆 ひとつが (7) 再提され 音やカ 排原 いでしょう。 していたように 武谷はるかさん。 しみを背 想像に余 けんで なく、 人生 1 t ñ テンの動き。 60 者の ô d) ました。 その 転換点 0 (0) しょうか L 苦しみは 思 7 80 ある人 人の家族 被傷者だけ 60 南 生十。 を効 HN 捌 # ĺ 6 A. を見 果 191 L 5生 揺 的 00 搶 40 原爆 の表 77.1 74.0 E \$ 象

ても 様不尽な選 4 きてい ΑĐ, 他さ 考之. 族 L

被爆者の

人

/E

(2)

ä

35

神

4

H

て

批 中して 上り H いまし から終わ 0 'n £ でシー 日です。 7 -- 4 8 196

かったと思 息子さんとの会話が います Ь 0 b õ ٤

80代 SI. 上、女性

人生。 7 客びも悲しみ、 になりませ た人生を過ごし 数びも イドで傷ついた乙女 Ü 苦しさを引きずつ 74 も苦しきを引 to なの 0 ٨ 4: 4 13

からも観でい TLL 人則 SHAN S 5 長崎 łī きたい æ 15 7 L. て 43 Ł 热 × 思 別を 33 + 11 1.1 4 1 Ť 7: 拉 tu 3

債谷はるかさんのその

财

d

(7)

A

10

音響が大きすぎる

ない T. 17 邨 P 往 淮 潮 せになら

手紙。 ひろ子 能が落 塂 1/16 ŧ, 應 7 (0) ひろし Mi T to

争い ると生 を後生に伝 (2) (7) ることがで 芝田 力からも色 6 本当に裏精らし ったで 人生だつ 2 きて を通 えな 60 17 U 原爆乙女としてかなり ì を開 t 0 たな 七年 17 41. 170 UN 性の t Ħ -1 Fu たです と思 03 63 島介 まし 焼さを修じ B いまし 19 がたさ f. 35 恢 t. 200 邓

> 思う。 られて良かった。 人芝居であ 非朋気, つて 懊 普遍性があ 性 がすごく略じ る上

て何とも言えない芝居でした。

4

ちになり生 ません。 こういう他し 前女 mj ŧ 分 ¥, あ まり こち -7 6 6 妊 きでは 東, 23 話を ķ×. 気 杏 持 X Ð.

能高でした。 が良く心にささりました。 日分のころと 十ばら しまし L 84 人生の楽 曲 人芝胡 なることがあ しみ でした。 役者さん TI. 悲しみ、 14 蓉

が素晴らしかったです は何人もの人が現 しきを感じました。 一人芝居はすごい ti マナ 液 出 22 0 兼 井 台 前 10 5

前・・・ 微災で家も なにも人たちを苦し FIL 原爆に達ったとい 変心 もよか 4 活は大変だったでしょう。 にしみました。 ろ苦し 身体の傷は 居場所も った。 い事だとは 3 約 なくしま てい 1 缬 後 は様々 13 きで行く上 液 5 解りま 窟 ΔĪ こん な形 L た ŧ.



85

IP-OA

う事を痛感